

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
446-2		犬猫不妊(去勢)手術補助事業(狂犬病予防経費)	会計	01	一般会計
			款	04	衛生費
基本	14	感染症などの流行、拡大を防ぎ、食の安全を確保する	項	01	保健衛生費
施策	2	情報提供の推進	目	01	保健衛生総務費
			細目	101	保健衛生事務経費
			細々目	03	狂犬病予防経費
基本計画該当頁			行革大綱の重点事項番号		
担当部課	コード	100100	評価者氏名	坂口孝一	連絡先
	名称	生活環境部市民生活課			22 - 9638 (内線) 2515

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
犬猫の飼養者及びその付近住民 (対象件数)	犬猫の適正な飼育の推進が出来るようになる。 飼育困難により放棄されることで発生する野良犬、野良猫が抑制される。
根拠法令・要綱等	犬及び猫の不妊手術費等助成金交付要綱
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
本年度事業内容	不妊手術又は避妊手術を受けた登録済みの犬及び猫の飼養者に対し経費の一部を助成する。 犬:1頭に対して、4,000円 猫:1匹に対して、3,000円
状況変化等	制度利用者が増加した。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	事業内容	補助金		(千円) 928	補助金		(千円) 1,279	補助金		(千円) 1,150	補助金		(千円) 1,150	補助金		(千円) 1,150	補助金		(千円) 1,150
		工事																	
進捗率(%)		事業費計(A) 928			事業費計(A) 1,279			事業費計(A) 1,150			事業費計(A) 1,150			事業費計(A) 1,150			事業費計(A) 1,150		
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440
フルコスト(A)+(B)		2,368			2,719			2,590			2,590			2,590			2,590		

事業費(人件費除)の財源内訳

(A) 事業費	928	1,279	1,150	1,150	1,150	1,150
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他	928	1,279	1,150	1,150	1,150	1,150
一般財源	0	0	0	0	0	0
計	928	1,279	1,150	1,150	1,150	1,150
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	犬の登録手数料、予防注射済み票交付手数料を財源とし、18年度実績が計画より増えた				

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
犬の不妊(去勢)手術に助成した件数	件	目標 49 実績 49	目標 70 実績 97	100	100
猫の不妊(去勢)手術に助成した件数	件	目標 244 実績 244	目標 200 実績 297	250	250
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
管内で捕獲される犬の頭数	捨て犬の発生を防止し、適正な飼育を目的としているため。	頭	目標 175 実績 175	目標 150 実績 105	100	90
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	環境省の「動物愛護管理基本指針」において「不妊去勢措置の推進」が構すべき施策としてあげられていることから、市としてもみだりな繁殖を防止し、適正飼育を推進する手段として、当面は当制度が必要と考える。
有効性	3	家庭での適正飼育に結びついていると考えられるが、野犬、野良猫の繁殖の抑制には結びつきにくい面もある。
達成度	4	達成できた
効率性	3	犬・猫の助成対象性別を限定し、補助件数の軽減を図ることを検討する。併せて、助成額についても見直しを図る。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	本来は飼い主の責任によるものとの意見もあり、時期を見て今後の継続について検討の必要がある。